

令和4年度広島の拠点性強化に向けた懇話会 開催記録

1 開催日時

令和4年11月10日（木）10:00～11:30

2 開催場所

広島市役所 本庁舎10階 市長応接室2

3 出席委員（50音順、敬称略）

池田晃治 広島商工会議所会頭
越智光夫 広島大学学長
清水希茂 中国経済連合会会長
田村興造 広島経済同友会代表幹事
西川正洋 広島県経営者協会会長
松井一實 広島市長
矢野泉 広島修道大学学長
若林真一 広島市立大学学長

4 議事内容

広島の拠点性強化に向けて（公共交通ネットワークを活用した地域活性化の取組について）

5 主な意見等

- ・ 交通事業者の経営状況を踏まえると、バスの上下分離方式の導入など、“競争原理”から“協調原理”へという市の方向性に賛成である。各事業者の経営努力は必要であるが、事業者間で必要な調整を図る協調体制の下で、より機能的にバスが動くまちとして発展していく姿に期待している。
- ・ 持続可能でシームレスな地域公共交通ネットワークを作るためには、都心部、周辺部、中山間地といった地域の特性も踏まえた全体的なまちづくりとして考える必要がある。
- ・ 公共交通を使えば自動車に比べてエネルギーの削減になるといった、カーボンニュートラルへの貢献についても、公共交通の大きな付加価値としてアピールすべきではないか。
- ・ 都心のにぎわいの創出は、公共交通の需要創出のポイントの一つであり、路面電車とバスを組み合わせた都心部の回遊性向上によりにぎわいをつくることや、路面電車の観光資源としての価値を活用してにぎわいをつくることが考えられる。
- ・ 公共交通の利用促進には、各種ポイント制度との連携などインセンティブを付与することも有効ではないか。